

# 環境活動レポート2015



写真は都田工場で種から育てたグリーン・カーテンです。

## 環境活動をご報告する内容。

### ・ごあいさつ

- ①組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)
- ②対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日 環境組織
- ③環境方針
- ④環境活動計画と中期の目標値

### ■前年度の活動実績

- ⑤前年度のREVIEW 環境目標の実績
  - ・環境目標の実績[CO2二酸化炭素 排出量の推移]
  - ・W-Eco 前年度の改善のまとめ
  - ・環境負荷フロー 各工場サイト別環境負荷の実績
  - ・取り組み内容の事例> 環境月間意識調査
- ⑥環境関連法規等遵守状況+確認評価結果+違反、訴訟等
- ⑦代表者による全体評価と見直しの結果。

### ■前年度の活動項目の評価と今後の取組内容

- ⑧環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容
- ⑨環境目標

### ■資料

- ⑩資料 各工場サイト別環境負荷の実績
- ⑪資料 環境側面データ

あとがき

# 環境レポートご報告にあたり。

弊社は、プラスチック・モールド・テクノロジーによる自動車用部品等の設計から製造までを国内外のお取引先様に提供しております。

プラスチック材料は、地球上のエネルギー〔石油・化石燃料〕からの造る大切な資源です。しかし使うことにより発生するCO<sub>2</sub>等は、地球の異常気象～自然災害 生物多様性へと大きな問題となっておりま。

弊社では、環境経営・エコアクション〔環境保全改善活動〕による 重要課題として位置づけ取り組むと共に、お取引先様の各国の環境規制への対応した製品の供給も求められています。

環境経営として、Wエコ改善〔環境+エコノミーの改善〕から高いイノベーションに至るまで限りある資源を使い 効果的な活動を進めなくてはなりません。

合わせて、身近なエコによる従業員 ひとりひとりの環境への認識も強く求められてきます。リスクも見極め、プラスチックの無限の可能性を追求するテクノロジーが必要です。


- ・省エネルギー 微量のエネルギーで高効率の製品の実現  
システム面からも、エネルギーとコストの低減
- ・省資源 マテリアル・リサイクル拡大し、可能性追求と生産対応
- ・化学物質 各規制に適合する材料への切り替えの積極的推進

知恵と工夫に加え 組織の決断により エネルギー問題/環境問題に正面から向き合い、  
常に変革を目指して、従業員のみならず、関係する企業様と一体になって  
環境負荷低減となる 改善活動 エコアクションを進めています。



2015/10/1 代表取締役社長 森川厚孝

## ①組織の概要 (事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等)

事業所名		
代表者氏名	代表取締役社長 森川厚孝	
所在地	本社都田	静岡県浜松市北区新都田一丁目2-12
	行橋	福岡県行橋市大字稲童字切堤237
	関東	群馬県邑楽郡邑楽町大字石打字万願寺308
環境管理責任者	氏名	下位 智
	連絡先	<a href="mailto:eco@nvk.co.jp">eco@nvk.co.jp</a>
事業活動の内容についての簡単な記述	工業用プラスチック製品の製造	
事業の規模	製品出荷額	45.0億円[2014/10-2015/9]
	従業員数	168名
	事業所の延べ床面積	9,719m <sup>2</sup>



その他事業の規模の内容は……

弊社ホームページ <http://www.nvk.co.jp/> をご覧ください

## ②対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

活動範囲

全社

以降の活動レポートの資料は全社の活動としてご報告しています。

認証登録範囲

本社・都田工場

行橋工場

関東工場

レポートの報告期間

**2014/10/1-2015/9/30**

ご注意

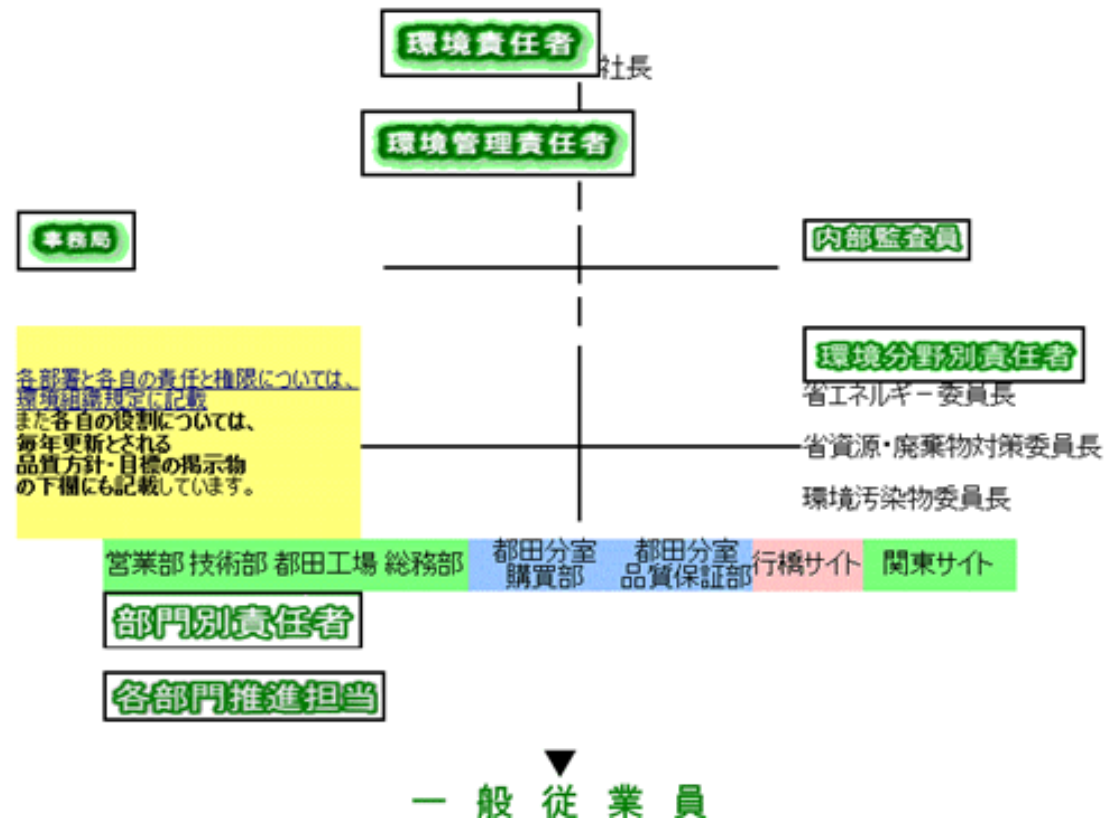
上記の報告期間を以降 前期と表記させていただきます。  
あわせて、2015/10/1から2016/9/30を 今期と表記しています。

レポート発行日

**2015/11/2**

## ②-2 環境組織

### 環境推進組織



## ③環境方針

### 環境方針

#### 環境理念

プラスチックの原材料等から排出に至る製品のライフサイクルに、係わる環境への影響を深く認識し、設計・開発～製造～サポート活動を通じて、継続的に環境負荷の削減を推進し生物多様性の保全と持続可能な世界にするために、以下の環境基本方針を制定する。

#### 基本方針

- 1 当社は、環境関連の法規制及び、環境保全上における、その他の要求事項を遵守して事業活動を行い続けます。
- 2 生産活動する上で 地球環境汚染を防止するために、積極的に取り組み続けます。  
必要となる以下の継続的改善に加え身近なエコ活動により
  - ① 省エネルギー[CO2削減]
  - ② 省資源としてリサイクル・リユースの推進 グリーン購買。
  - ③ 有害となる環境負荷物質の切り替え推進  
のために積極的に取り組み続けます。
- 3 目標を設定し、全従業員等による環境保全活動を遂行できるよう、環境教育を実施し、マネジメントシステムの見直し～継続的改善に取り組みます。
- 4 本方針は、あらゆる媒体を使い、全ての従業員等に周知を計ると共に外部の方々への公開します。  
環境方針・目標は 変動する世界情勢の中、状況の変化によりすみやかに更新をかけなくてはならない。

2015/10/1確認 代表取締役社長 森川厚孝

2013/10/1 更新 今回 環境理念 低減→削減へ 見直しました。  
システム運用開始 2004/4/16 エコアクション登録日 2005/1/18

## ④環境活動計画と中期の目標値

この年まで前年比率→ →売上比率に変更

項目\年	区分	2012/10-	2013/10-	2014/10-	2015/10-	2016/10-	2017/10-
		2013/9	2014/9	2015/9	2016/9	2017/9	2018/9
		62期	63期	64期	65期	66期	67期
省エネルギー [電力使用量]	目標	前年比1% 以上削減	前年比1% 以上削減	売上に占める 電力使用額 8.3%以下	売上に占める電力使用額 8.1%以下		
	実績	<b>2.0%</b>	<b>7.6%</b>	<b>8.02%</b>	<b>活動中</b>	-	-
廃棄物対策 [産業廃棄物量排出量]	目標	前年比1% 以上削減	前年比1% 以上削減	売上に占める 産業廃棄物委託費用 0.1%以下	売上に占める産業廃棄物委託費用 0.1%以下		
	実績	<b>-15.6%</b>	<b>14.4%</b>	<b>0.05%</b>	<b>活動中</b>	-	-
省資源 [水使用量]	目標	前年比1% 以上削減	前年比1% 以上削減	売上に占める 水使用量額 0.1%以下	売上に占める水使用量額 0.1%以下		
		<b>34.9%</b>	<b>-4.8%</b>	<b>0.09%</b>	<b>活動中</b>	-	-

### ★今期[2015/10～]の取り組み内容★

■は目標未達成となった項目です。

・工場再編成後、目標設定は、前年度比率から 環境経営として適切なる目標値を検討して、単年度の変化の中で 対応できる目標値 「各環境負荷の占める売上比率」に変更しています。  
 変動する内外の環境の変化に応じて、すみやかに環境活動計画も更新をかけてまいります。  
 目標達成に向け ダブルエコ[エコロジー+エコノミー]での作業環境面での改善に 発想／着眼点を変え継続・推進しています。  
 今期以降についても、今後の環境指標を取り巻く変化[例 電力自由化 景気動向等]を踏まえ 随時見直します。

ここからは前期[2014/10-2015/9]の活動報告資料となります。

## ⑤前期のREVIEW 環境目標の実績

2014/10-2015/9 社内64期 環境目標とその結果

In-put

Out-put

項目	2014/10に立案した 目標内容	設定した 目標	2014/10-2015/9 全社合計 <b>実績</b>
1. 省エネルギー	エネルギーの大半を占めます電力使用量に置き換えて設定したし数値です。 CO2の量については次の頁に記載	売上に占める電力使用額 8.3%以下	<b>8.02%</b>
2. 廃棄物対策	産業廃棄物量 [マニフェスト発行分]の削減	売上に占め各 費用0.1%以下	<b>0.05%</b>
3. 省資源	水使用量[井戸水含む]		<b>0.09%</b>
4. 化学物質	各環境法規制に迅速に対応し、 改善代替を顧客に提案し改善を進める。		更新される各国の規制と 依頼のあった化学物質関係の 報告についての顧客/行政への 随時報告対応しました。
5. 製品対策	製品と環境のダブル改善 10件以上		環境を含めた改善として11件

今期の変動要素の  
多面的分析

電力使用量 C o 2

電力料金 売上高比率

前年比率 元単位

### ★前期の評価[2014/10-2015/9]★

前期の評価

3管理指標については、環境負荷の売上高比に対する比率へと変更しました。

その他 改善

ダブルエコ[エコロジー+エコノミー]での作業環境面での改善に 発想/着眼点を変えて推進できました。

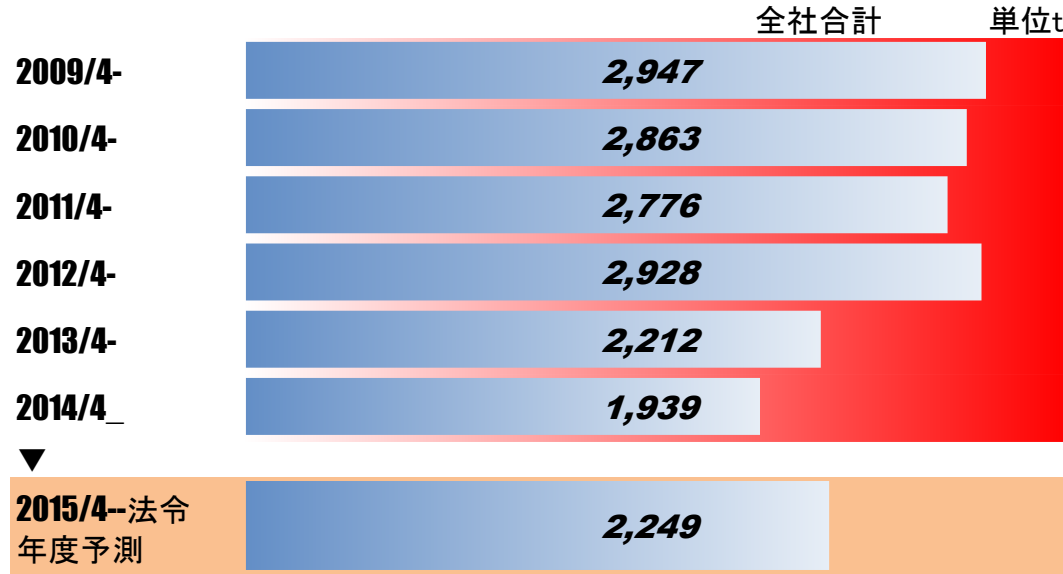
売上基準は 各工場の売上額の合計のみで計算しています。



## ⑤政令前年度のREVIEW 環境目標の実績[CO2二酸化炭素 排出量の推移]

ここで報告している資料は 弊社の95%を占める 電力からのCo2の実績です。

本頁の報告については、政令年度に対応した Co2係数を用いて、政令年度での報告となります。



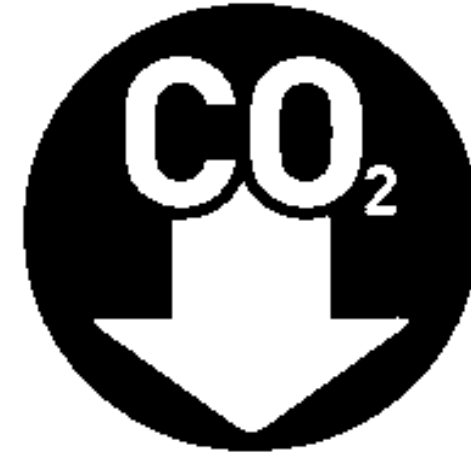
↑ 2015/4-のデータは、比較するため年間予想値です。9月までの実績平均×12で算出しました。

ここで報告する資料は 弊社の95%を占める 電力からのCo2の実績です。

弊社では大半を占めている電力のCO2排出量は、各電力会社の法令年度毎に異なるため4月から次年3月での集計としました。

CO2量を換算した係数は、各地域の電力会社の毎に環境省より毎年公表されます  
電気事業者別の二酸化炭素排出係数を使用しています。参考 →右表は最新の係数

電力量としては、減っていますがCo2係数  
集計期間として政令年度 10月以降は実績平均値想定による数値です。  
東京電力については、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく平成25年度の電気事業者ごとの排出係数平成27年7月14日一部追加・修正値に更新



実排出係数 2014/12/5公表資料

関東工場	東京電力	0.531
都田工場	中部電力	0.513
行橋工場	九州電力	0.613

## ⑤REVIEW 環境目標の実績[W-Eco]

### W-Eco 前期の改善のまとめ 目標10件以上

環境目標	設備/作業環境改善の中で、エコ環境改善につながるテーマへ取り組み "エコロジー+エコノミー ダブル改善 全社で年間 11件以上の達成		
サイト	区分	内容	行われた分析とリスク
1 都田	省エネ	水銀灯 LED化と <b>同時進行で不要箇所撤去</b>	同時に本当に必要か撤去も視野に進める
2 都田	省エネ	トイレ LED化と <b>同時にスイッチレス</b>	切れ忘れはポカヨケで
3 都田	省資源	TUBE 保温機熱もれ対策	エネルギー使わない保温対策もできる。
4 都田	省エネ	契約電力の見直し <b>分析と想定するリスク</b>	将来にあたり適正使用量はどれくらいか
5 都田	省資源	FAXを紙使用からPC出力で直接送信	送信忘れと記録はPCに履歴
6 分室	省資源	ゴミ分類の写真による表示でわかりやすく	実物を見るのが一番/まだできるリサイクル
7 分室	省資源	段ボール梱包廃止とリサイクル	使われ方 輸送不良の実態
8 行橋	省エネ	節電水洗機 <b>使用頻度の低い電源管理</b>	使用頻度を調査して SIMPLE コンセントは抜く
9 行橋	省資源	拡大鏡LED眼鏡型導入	作業性とLEDによる電池寿命も考慮
10 行橋	省エネ	営業車の見直し1台廃車 <b>使用頻度リスク見直し</b>	Eco-Driveでなく使用頻度と維持費を比較
11 関東	省エネ	蛍光灯→LED化 可能な段階から推進[設備改善等との同時]	設備停止して行う改善と同期した推進
まとめ	同時進行で何かできないか、節約抑えるくらいなら リスクを確認して、やめる選択も		



## ⑤環境目標の実績＞取り組み内容＞環境の意識調査

今年度の新たな取り組みとして 従業員が環境へどのような想いを持っておられるか調査してみました。

### 意識調査 環境活動について 漢字 2文字で現わすと



実施 2015/6/1-20  
環境月間の社内イベントとして実施

#### 環境月間向け 環境教育理解してもらう テストとアンケート2015.6

氏名

6月は環境月間です。みなさんに日本ビニロンを取り巻く環境について、少しでもご理解してもらいたく。簡単にご理解度の調査とアンケートをお願いすることになりました。よろしくお願ひします。

#### 選択で選ぶ 一般的なエコ検定

ご回答欄

日本ビニロン全体の年間電気使用料は売上の何パーセントを占めていますか

1	15.2%
2	8.3%
3	5.5%



2 明かり照明削減 小断対し虫元対し電球の9へし

3 プラスチックを生産する真髓 成形機

4 熱い熱で溶かしてくつける熱板溶着機

#### 環境アンケート

・有害な化学物質で一番思い浮かぶことは ひとつ選択

- PM2.5 中国からの石炭等の火力発電
- CO2 自動車等からの排出ガス
- 知らずに社内使っている有害な材料/接着剤/材料
- プラスチック材料による火災等の事故で発生するだろう有害なガスが心配です。

・環境活動について 漢字 2文字で現わすと

省エネ月間/環境月間の活動として  
2月と6月に従業員から  
身近なエコについて  
報告してもらいました。

## ⑥環境関連法規等遵守状況+確認評価結果+違反、訴訟等

環境関連の法規制及び、環境保全上における、その他の要求事項を遵守して事業活動を行なっております。  
前年度で対応したのは、以下の内容です。

### 1. 環境関連法規等への違反、訴訟状況(2014/10~2015/9)

行政	環境関連法規[右記]への違反及びご指摘された内容は、ありません。
お客さま	ご指摘ありませんでした。
近隣住民のみなさまから	各サイト共に苦情はありませんでしたが、行橋にて台風による近隣への空箱飛散が発生
社内での自己チェック	環境内部監査と法令自己チェック[年2回実施]にて全サイトで実施し なし。

### 2. その他 環境に対する問い合わせ(2014/10~2015/9) 販売を意図した問い合わせは除く

行政	6件 昨年3件
お客さまのシステム的な問い合わせ	20件 昨年4件
お客さまから 納入製品の環境負荷物質含有成分の報告と対応 ELV/Rohs REACH 規制関連した内容 JAMA-JAPIA Sheet/IMDSによる化学成分報告は除く	10件 昨年10件

★法令内容の更新状況の確認については、毎年2回実施しています。

### 弊社に関連する法規制群 維持/届け/質量管理

環境基本法  
生物多様性基本法

グリーン購入法  
資源有効利用促進法  
循環型社会形成推進基本法  
地球温暖化対策の推進に関する法律  
京都議定書  
容器包装リサイクル法  
工場土地法  
消防法  
騒音規制法  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律  
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の推進に関する法律  
下水道法  
電気使用制限等規則

上記に関連する  
[法及び施行規則 施行令等]と  
関連するサイト所在地の  
都道府県/市町村の条例  
海外 ELV+RoHS規制 Reach規制等……

## ⑦代表者による全体評価と見直しの結果。

### Input

2015/07/28 実施した指示内容より抜粋しました。

- ・内部監査／法的要求事項／その他
- ・苦情、外部利害関係者からのコミュニケーション
- ・顧客からのフィードバック
- ・組織の環境パフォーマンス
- ・環境目的および目標の達成程度
- ・プロセスの成果を含む実施状況及び製品の適合性
- ・是正および予防処置の状況
- ・予防処置及び是正処置の状況
- ・前回までの経営層による見直し結果とフォロー
- ・前回までのマネジメントレビューの結果のフォロー
- ・環境側面の変化 システムに影響を及ぼす変更
- ・改善のための推奨事項
- ・改善のための提案 等



### Output

- ①環境マネジメントシステムの有効性の改善に関する内容
  - ・環境経営の概念を基にした目標について、多面的な分析を引き続きお願いします。  
[各工場]
  - ・環境マネジメントシステム 継続して時代の流れを的確に捉え進めること。  
更新されま要求と顧客からの新たな要求を考慮したシステムの見直し  
<環境リスク・アセス等> [管理責任者/事務局]  
引き続き将来の環境システムの進むべきロード・マップ、動向調査
- ②顧客要求事項への適合に必要となる、製品を改善する内容  
海外向け製品、海外関連事業所、お届け先関連国の環境規制情報を把握し対応  
合わせて、迅速な情報提供と対応すること。[営業/技術部長 事務局]
- ③資源の必要性
  - ・目標を達成するために必要となる経営資源  
エコロジー+エコノミーを念頭に、環境改善する上でのリスク明確にして、  
できるところからでも目標達成できるよう検討して資源の投入する。  
[各工場]  
インプットシステム面での改善する時代に、的確な情報と手続きにより授かる

代表者による評価と見直しについては、マネジメントレビューとして実施しました。

ここからは前年度の活動報告評価と今後の活動計画の資料となります。

## ⑧環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

区分	計画	前期実施した主な内容	評価	次年度以降の取組内容
1. 省エネルギー	<b>■従業員ひとりひとりの意識改善</b> ・全従業員啓蒙活動 <b>身近なエコ</b>	・従業員環境意識アンケートと決意[全社] ・Fun To Shareポスター掲示による啓蒙活動継続 ・ウォームビス/スーパークールビス/環境月間	◎ ◎	継続して実施
	・環境月間[6月]	・女性とエンジニアの眼で省エネパトロールとECOアンケート実施 環境への意識を文字で表現	◎	国家/行政の施策に合わせ継続して実施
	<b>■製品面からの改善</b>			ダブル・エコをベースした意識
	工数削減も省エネ	・検査工数削減に顧客と取り組み 製品と環境のダブル改善 11件以上達成	◎	製品と環境のダブル改善 検査工程は継続
	<b>■作業環境側面からの改善</b>			
	環境負荷設備	着眼点を変えた省エネ改善 ・グリーンカーテンとプロジェクト継続拡大 ・外気熱対策 遮断カーテン すだれ等	◎	引き続き着眼点を変えて省エネ改善と的確な情報キャッチ <b>補助金/助成金システムの理解</b>
	Wエコ改善	環境改善提案定着してきました。	○	提案制度継続
	<b>■システム 仕組み面からの改善</b>			
	電力契約量改善	・生産規模に合わせた契約電力の見直し 電力自由化情報収集	◎	<b>生産規模に合わせて</b> 電力見直し引き続き検討 電力自由化情報収集
	休日変更	・顧客/業界にあわせた休日設定ゴールデンウィーク実施。	△	関連する <b>政令や顧客</b> に合わせて継続して実施します。

評価基準 ◎できました ○部分的になんとかできた △少ししかできなかった ×できなかった

## ⑧環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容


区分	計画	前期実施した主な内容	評価	次年度以降の取組内容
2. 廃棄物対策	<b>■従業員ひとりひとりの意識改善</b> ・従業員教育	・教育訓練計画に沿って随時実施 専門教育 巡回 内部監査等含む	○	教育訓練計画に沿って継続実施
	<b>身近なエコ</b> <b>■製品面からの改善</b> ・品質向上[桁違い品質] ・リサイクル拡大と見直し	・顧客と一緒に 品質改善活動による不良品の低減[全工場] ・納入先顧客と社内リサイクル等の検討スタートして再生比率拡大へ対処 外部リサイクルも、テクノロジーの進化に合わせて拡大改善	○ ◎	環境と製品 ダブルエコの意識PR 再生リサイクル範囲 さらに社内外拡大 クローズドリサイクル材の導入推進
	<b>■システム 仕組み面からの改善</b> ・法令遵守 ・分別回収	・廃棄物処分場 地域条例にもとづく現地確認実施 優良事業者評価方式見直し ・リサイクル業者変更による分別方法の見直しと定着	◎ △	事前自己評価アンケート方式による効率化継続 見て間違いなくわかる分別の推進
3. 省資源 水資源	<b>■従業員ひとりひとりの意識改善</b> ・節水対策の展開 <b>身近なエコ</b>	・節水対策 水不足情報の展開-なし- ポスター掲示による啓蒙活動継続[全社]	△	身近なエコとして、節水も継続

## ⑧環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

区分	計画	前期実施した主な内容	評価	次年度以降の取組内容
4. 環境汚染物の製品対策	<b>■製品面からの改善</b> ・環境負荷対策 製品 ・情報の共有化推進	製品成分情報の提供 塩ビPVC系材料変更 対策前品購入ゼロ実現 ・環境成分データの REACH規制 SVHC対応強化 ・JAMA-SHEET IMDS に移行	◎	切り替え混入 トラブルの防止と拡大
	<b>■従業員ひとりひとりの意識改善</b> ・緊急事態訓練の実施	・緊急訓練項目の見直しと 効果確認アンケートに加え理解度テストの実施	◎	海外環境規制内容と 顧客指示内容など への早急な対応
			○	原点と多様な事態での緊急事態訓練での施行し実施



区分	計画	実施した主な内容		次年度以降の取組内容
5. グリーン購買	<b>■製品面からの改善</b> ・通箱のリターン化	ダンボール一方通行製品梱包の削減	△	継続して取り組み

区分	計画	前期実施した主な内容		次年度以降の取組内容
6. 地域環境保全 生物多様性 に向けて	<b>■従業員ひとりひとりの意識改善</b> ・ウェルカメクリーン作戦/ 近隣清掃への参加 <b>身近なエコ</b>	・浜松市が主催するウェルカメ・クリーン作戦参加 ・行橋/関東の工場周辺の清掃活動継続	◎	生物多様性に関する理解の継続して参加者と実施場所の見直し。
				

写真は海岸清掃ウェルカメ・クリーン作戦



## ⑨環境目標 単年度の今期環境目標

2015/10-2016/9 社内65期 環境目標 **かしこい選択** **ECO CHOICE**

### 1. 省エネルギー

地球温暖化の抑制・気候変動・酸性雨の防止

電力使用量 売上高に占める電力費用年間 **8.1%**以下

合わせて各工場毎に個別に設定しました。

### 2. 廃棄物対策

環境汚染防止・廃棄場不足の抑制・資源の保護

廃棄物量の削減 売上高に占める費用年間 **0.1%**以下

### 3. 省資源・水資源の改善

水資源の保護・抑制 生態系の保護

水使用量 売上高に占める費用年間 **0.1%**以下

### 4. 化学物質の改善

地球環境の汚染防止・生態系の保護・オゾン層の破壊防止

各環境法規制[海外含む]に迅速に対応し、  
改善代替えを顧客に提案し切り替えを推進する。

### 5. 製品対策<ダブル エコの取り組み>

環境汚染防止・地球温暖化・廃棄場抑制・天然資源の保護

“エコロジー+エコノミー ダブル改善

全社で年間 **11**件以上の達成を継続



中長期の環境目標は次頁

今回目標を設定するにあたり、電量使用料金の推移予測、生産動向、経営資源の配分状況等を分析し決定しました。売上基準は、各工場の売上額の合計のみで計算しています。

## 資料① 各工場サイト別環境負荷の実績

### 電力

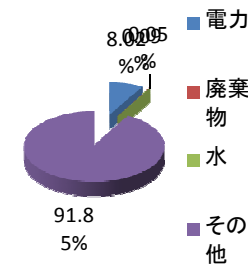
期間	合計 単位kw/h	単純前年比	売上に占める割合	都田	分室	行橋	関東	竜洋	単純前年比
2010/10-2011/9	6,489,428		6.48%	2,609,852		1,406,496	513,948	1,959,132	89.6%
2011/10-2012/9	6,757,638	104.1%	6.81%	2,820,924		1,454,988	560,502	1,921,224	106.7%
2012/10-2013/9	5,686,610	84.2%	7.86%	2,453,232		1,237,213	466,666	1,529,499	81.9%
2013/10-2014/9	4,032,789	70.9%	8.38%	1,953,756	80,358	980,118	967,079	51,478	73.6%
2014/10-2015/9	3,965,133	98.3%	8.02%	1,762,332	79,916	1,108,500	1,014,385		101.3%

### 廃棄物

期間	合計 単位m3	単純前年比	売上にしめる割合	都田	分室	行橋	関東	竜洋
2010/10-2011/9	169.5		0.08%	98.0		29.7	9.8	32.1
2011/10-2012/9	166.7	98.3%	0.07%	89.0		39.2	2.5	36.0
2012/10-2013/9	147.5	88.5%	0.09%	44.0		63.4	5.3	34.9
2013/10-2014/9	96.9	65.7%	0.09%	59.6		13.3	7.0	17.0
2014/10-2015/9	70.0	72.2%	0.05%	32.1		30.7	7.2	

### 水

期間	合計 単位m3	単純前年比	売上にしめる割合	都田	分室	行橋	関東	竜洋
2010/10-2011/9	6613.0		0.07%	5134.6		未集計	566.2	912.2
2011/10-2012/9	6961.6	105.3%	0.06%	5356.1		未集計	831.2	774.3
2012/10-2013/9	8126.6	116.7%	0.09%	6304.9		33.5	655.0	1133.2
2013/10-2014/9	6492.4	79.9%	0.05%	5108.2	136.5	21.8	1025.8	200.2
2014/10-2015/9	6671.5	102.8%	0.09%	5480.8	174.1	5.2	1011.3	



前年度の環境活動レポートでの数値と異なります。各指標の精度向上のため各項目/地域/業者によって異なる月度単位を日割してより精度を上げ計算しました。  
各工場のロケーションや規模が変化しており単純に比較は困難です。

# 資料② 2014/10~2015/9 社内64期 環境側面データ

お客さまご注文

## Input

おもな環境負荷資源

投入資材	2,552.89	t
原材料	1,824.49	t
梱包材料	272.27	t
副資材 他	456.12	t

生産するエネルギー

電力	3,878,507	千KW
軽油	0.00	KL
ガソリン	0.01	KL
ガス	0.08	KL
灯油	0.87	KL

その他

水道工業用水	6,671	m3
事務用紙	2.8	t

その他輸送移動にかかわるエネルギー

営業活動

設計活動

購買活動

製造活動

都田工場

行橋工場

関東工場

委託先

## Output

大気に出てしまいました。

二酸化炭素CO2	2,170	t-CO2
電気 石油 廃プラを含む		

排水させてもらいました。

排水量	5.3	t
自然大気蒸発分除く		

廃棄物として処理しました。

廃棄物量	93.8	t
------	------	---

一般廃棄物も含む 廃棄物中間処理先以降でリサイクルしているものは集計していません。

外部でリサイクルお願いしています。

原材料	129.5	t
梱包材 金属他	9.8	t

社内でリサイクルしています。

梱包材料と紙	177.9	t
原材料リサイクル量	138.4	t

完成品 お客様

# あとかぎ



<http://www.nvk.co.jp/>

環境活動レポートは定期的に作成して公開しています。

作成 2015/11/01 総務部

見直し2015/12/15 総務部

[eco@nvk.co.jp](mailto:eco@nvk.co.jp)

次回 2016/11/01 発行予定

本活動レポートでは、情報セキュリティの関係上 組織個人名の表記は記載しておりません。

弊社公式ホームページ <http://www.nvk.co.jp/>にて、ご確認上の各組織へ アポイントお願いします。

環境改善設備等の維持改善を目的としながら、一方的な販売活動については ご遠慮お願いします。